

# 中部地方の生物多様性



提供：④愛知県、⑤岐阜県、⑥富山県、⑦日本カモシカセンター、⑧(公財)日本野鳥の会

## CONTENTS

- 2・3 …… 主な河川／気象庁定義による活火山／面積1km以上の島の面積／外周0.1km以上の島の数
- 4 …… 月平均気温と月平均降水量
- 5 …… 生物多様性保全のための国土区分／温量指数の分布
- 6 …… 人口、面積及び人口密度／産業別人口割合
- 7 …… 都道府県別海岸(汀線)区分別延長／閉鎖性水域の面積等／三大湾、琵琶湖の比較
- 8 …… 都道府県別藻場面積／都道府県別干潟面積／主な湖沼一覧
- 9 …… 都道府県別植生自然度
- 10 …… クラス域別植生図
- 11 …… 都道府県別植生クラス域の割合
- 12 …… 主な植生の出現頻度／ブナ林(自然林)の都道府県別分布割合／照葉樹林(自然林)の都道府県別分布割合／特定植物群落の数と選定基準
- 13 …… 巨樹・巨木県別TOP5一覧
- 14 …… 二次林タイプの分布／ため池100選一覧
- 15 …… 日本の重要湿地500一覧、ラムサール条約登録湿地及びラムサール条約登録湿地潜在候補地
- 16・17.. レッドリスト掲載種数
- 18 …… 自然公園及び自然歩道の位置／自然公園の面積等
- 19 …… 国立公園の地種区分の面積及びその割合／国立公園の面積
- 20 …… 国立公園の土地所有別面積と割合／国立公園の利用密度
- 21 …… 国立公園内海域公園地区／自然歩道の県別距離／重要野鳥生息地(IBA)一覧
- 22 …… 国指定鳥獣保護区一覧／鳥獣保護区の分布／シカの生息範囲の拡大状況
- 23 …… 生態系の観点から重要な地域

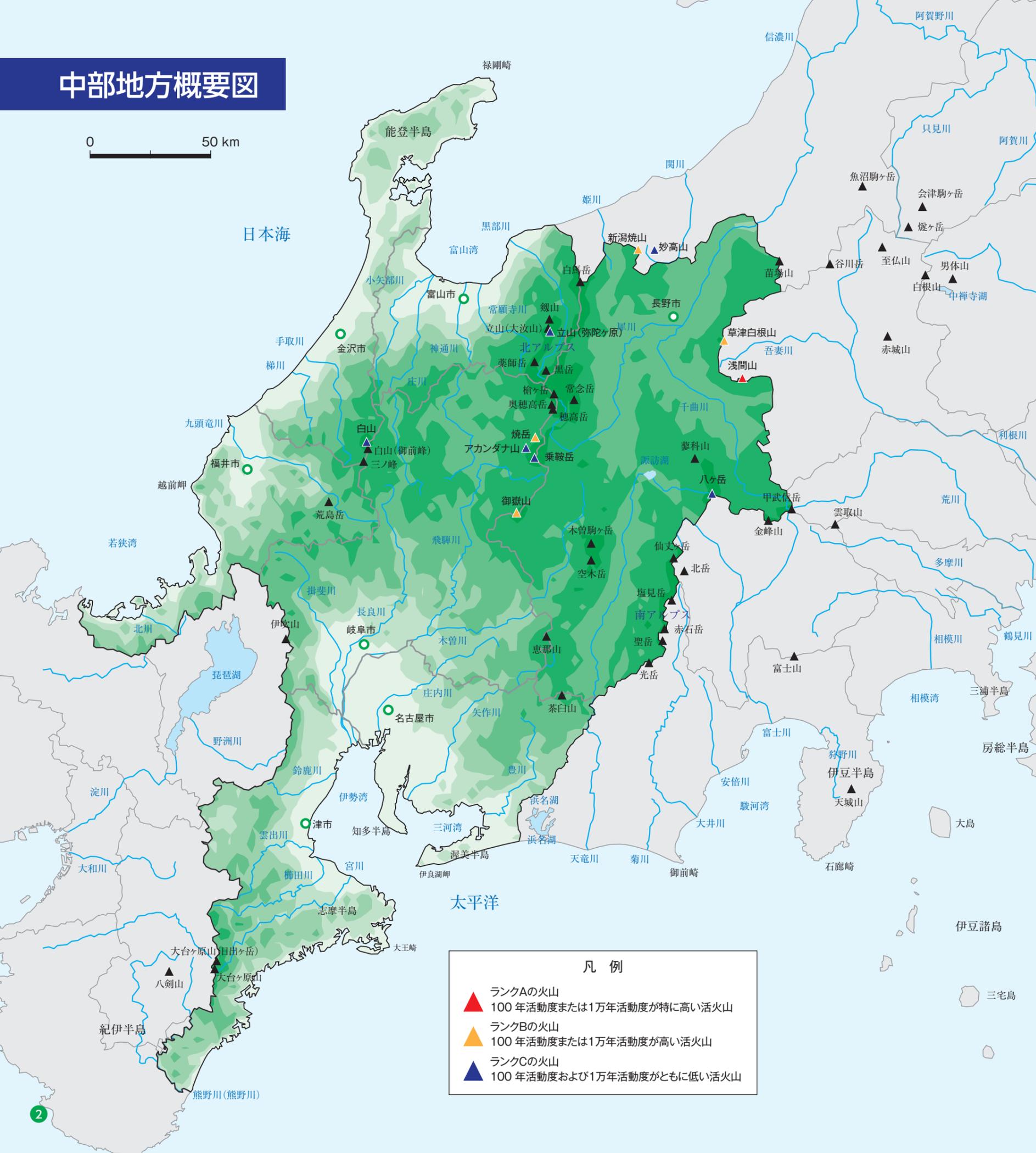


中部地方環境事務所

環境省

# 中部地方概要図

0 50 km



凡例

- ▲ ランクAの火山  
100年活動度または1万年活動度が特に高い活火山
- ▲ ランクBの火山  
100年活動度または1万年活動度が高い活火山
- ▲ ランクCの火山  
100年活動度および1万年活動度がともに低い活火山

## 面積1km<sup>2</sup>以上の島の面積

県名	島名	面積(km <sup>2</sup> )	関係市区町村
石川県	能登島	46.69	七尾市
愛知県	佐久島	1.81	一色町 (現行西尾市)
三重県	答志島	7.01	鳥羽市
	菅島	4.52	鳥羽市

## 外周0.1km以上の島嶼数

県名	島嶼数
富山県	3
石川県	110
福井県	58
愛知県	41
三重県	233

国土地理院の全国都道府県市区町村別面積調(平成22年10月1日現在)による。

## 中部の主な河川一覧

順位	島名	流域面積(km <sup>2</sup> )	幹川流路延長(km)
1	利根川	16,842	322
2	石狩川	14,330	268
3	信濃川	11,900	367
4	北上川	10,150	249
5	木曾川	9,100	229
7	淀川	8,240	75
12	天竜川	5,090	213
15	富士川	3,990	128
20	九頭竜川	2,930	116
22	神通川	2,720	120
27	新宮川	2,360	183
35	矢作川	1,830	118
47	大井川	1,280	168
51	庄川	1,180	115
参考	庄内川	1,010	96

国土交通省河川局資料による。  
流域面積2000km<sup>2</sup>以上、または幹川流路延長100km以上の一級河川でかつ、継続して流量データの得られている河川。  
順位は、全国順位上記条件における流域面積の広い順に並べている。5位までは参考までに、中部以外の河川も示した。(中部以外の河川は青字で示す。)  
庄内川は上記基準に満たないが参考までに本表に掲載した。

## 気象庁定義による活火山(注)

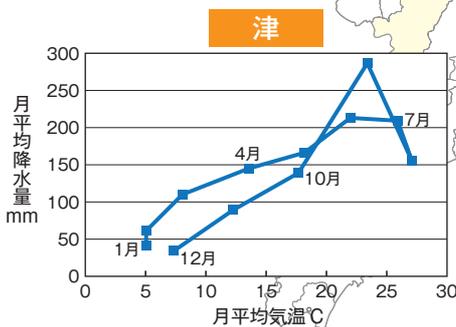
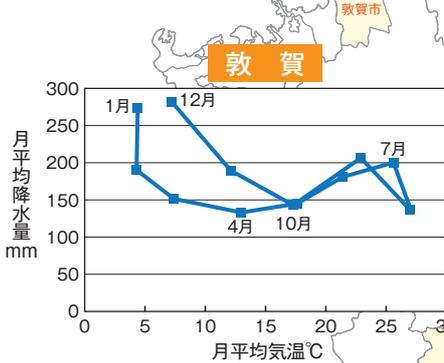
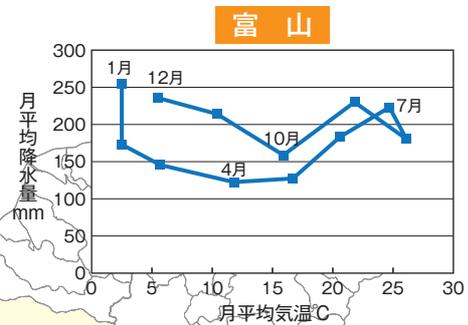
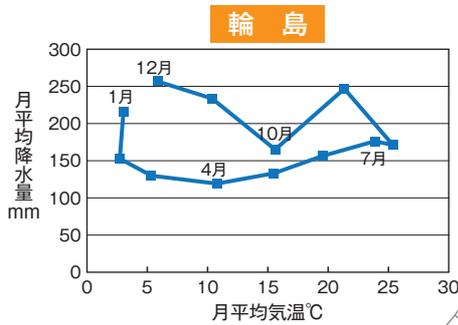
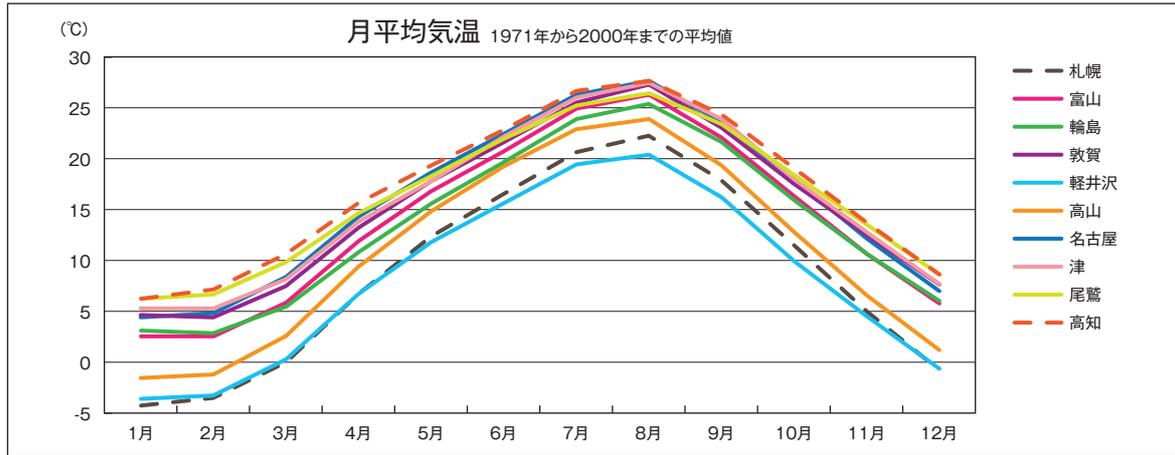
名称	ランク
弥陀ヶ原	C
白山	C
アカンダナ山	C
乗鞍岳	C
焼岳	B
御嶽山	B
横岳	C
浅間山	A
草津白根山	B
妙高山	C
新潟焼山	B

## 各県の最高地点

県名	山名	標高
富山県	立山(大汝山)	3,015m
石川県	白山(御前峰)	2,702m
福井県	三ノ峰南部	2,095m
長野県	奥穂高岳	3,190m
岐阜県	奥穂高岳	3,190m
愛知県	茶臼山	1,415m
三重県	大台ヶ原山(日出ヶ岳)	1,695m

(注) 概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山。妙高山及び新潟焼山は新潟県に位置するが参考の為に示した。

# 月平均気温と月平均降水量

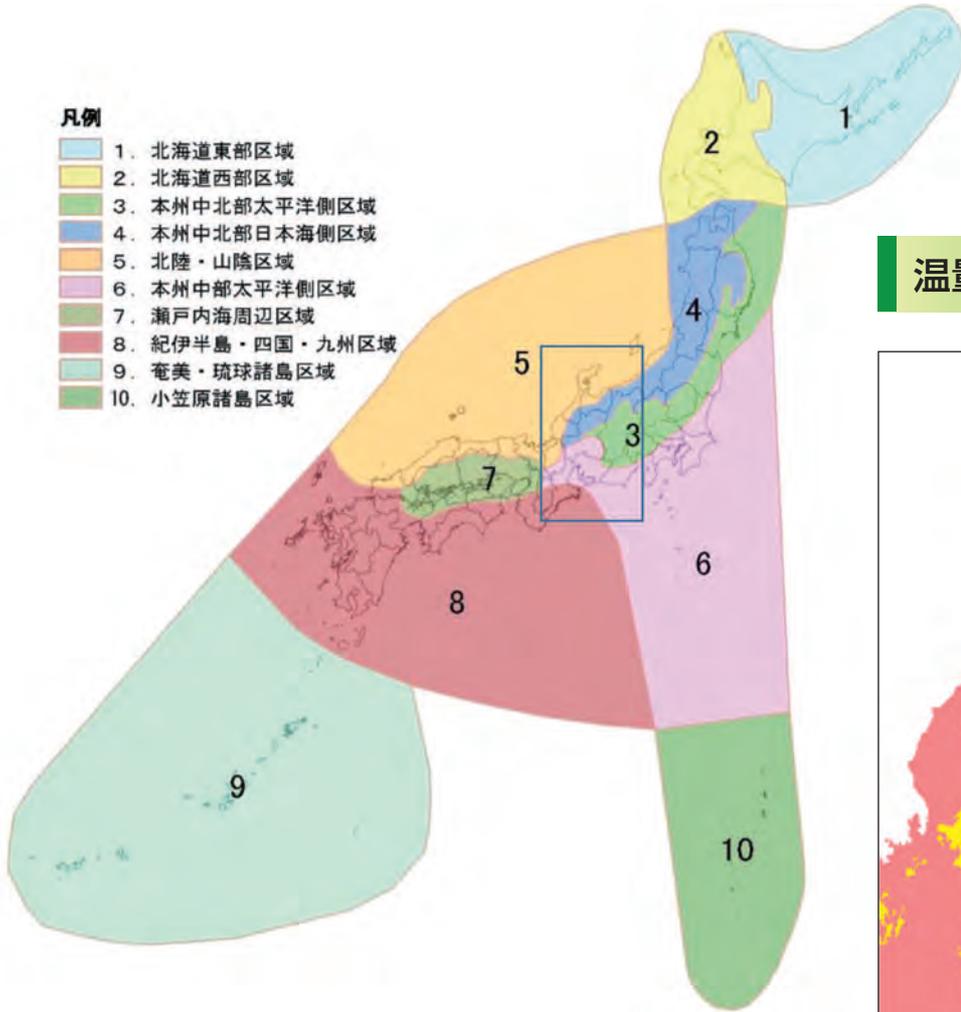


## MEMO

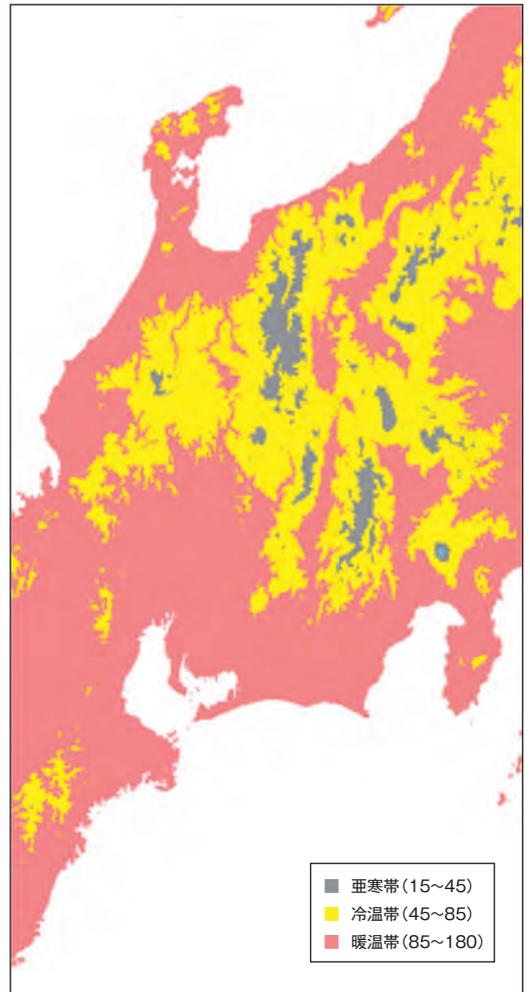
温度から見ると、海拔の低い場所であれば高知から札幌付近に相当する。

クライモグラフからは、日本海側は冬に降水量が多く、太平洋側は降水量が少ないことが分かる。

# 生物多様性保全のための国土区分(試案)

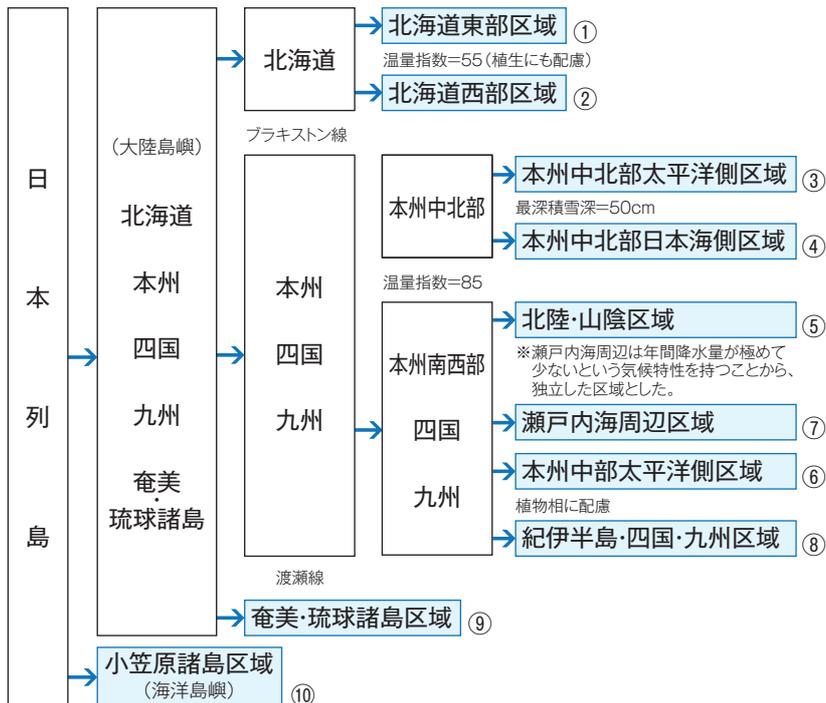


## 温量指数の分布



### 国土区分(試案)の作成手法

注) 数字は区分された区域番号を示す。



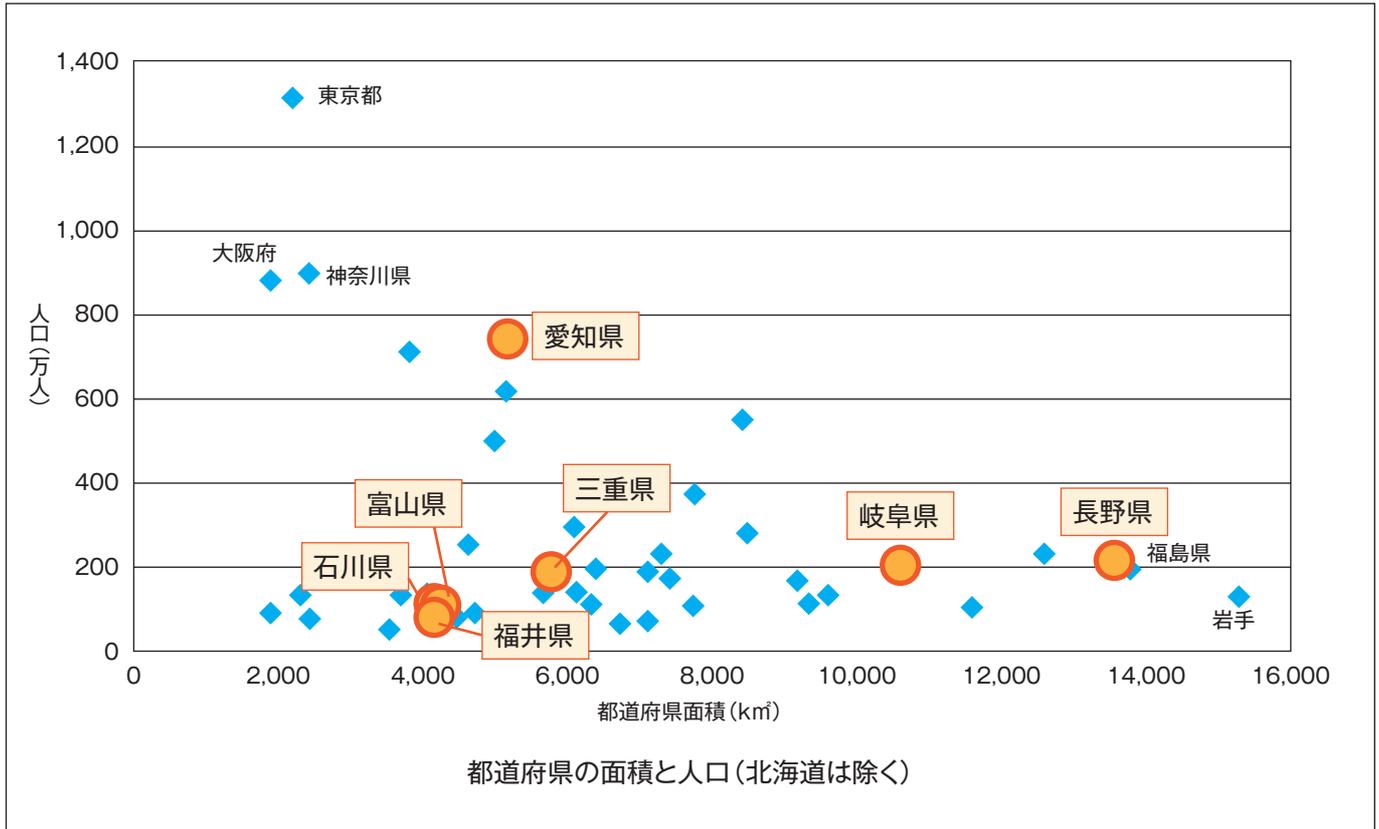
### MEMO

生物多様性保全のための国土区分については、平成9年12月公表の環境省資料による。日本列島を試案として10の区域に区分した。うち、中部地方(例えば青の枠内)においては5つの区域が分布する。

このことから様々なタイプの自然が交差する場所であることが見て取れ、中部地方の生物多様性保全の重要性が示唆される。

温量指数は吉良(1949)による。暖温帯から亜寒帯までの広い気候帯を有し、それらの応じた植生が成立している。

## 各県の人口、面積及び人口密度



都道府県	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
愛知県	7,410,719	5,165.0	1,434.8
三重県	1,854,724	5,776.3	321.0
石川県	1,169,788	4,185.7	279.5
富山県	1,093,247	4,247.6	257.4
岐阜県	2,080,773	10,621.2	195.9
福井県	806,314	4,189.8	192.5
長野県	2,152,449	13,562.2	158.7
全 国	128,056,352	377,950.1	338.8

### MEMO

長野県は北海道、岩手、福島に次ぎ、面積第4位。岐阜県も第7位。

愛知県は人口第4位。

原点と各県の位置を示す点とを結ぶ線の傾きは人口密度を示す。

全体として、第二次産業割合が高く、長野県を除き、第一次産業割合は低い。

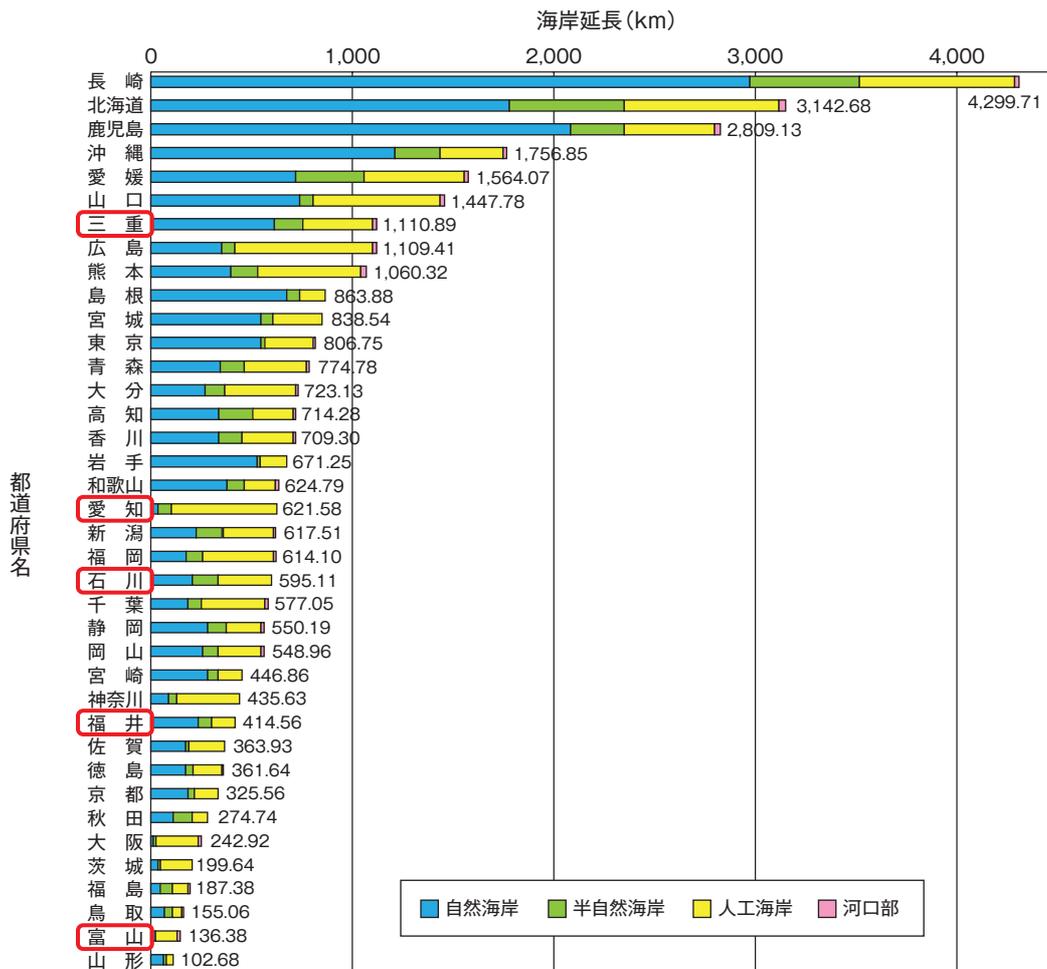
面積と人口のデータは国土地理院 全国都道府県市区町村別面積調(平成22年10月1日現在)、総務省統計局 平成22年国勢調査 人口等基本集計結果による。

産業別人口割合のデータはデータ: 総務省統計局 平成17年国勢調査 第2次基本集計による。

## 産業別人口割合

県名	15歳以上 就業者数	第1次産業 割合(%)	全国 順位	第2次産業 割合(%)	全国 順位	第3次産業 割合(%)	全国 順位
富山県	578,051	4.3	34	34.8	1	60.4	39
石川県	596,324	3.9	35	29.6	16	65.4	19
福井県	423,959	4.7	32	33.1	7	61.5	32
長野県	1,150,880	11.4	7	30.8	11	57.0	47
岐阜県	1,071,054	3.7	36	34.7	2	61.0	34
愛知県	3,707,828	2.8	41	34.4	5	61.3	33
三重県	922,622	4.9	31	33.2	6	60.4	38

# 都道府県別海岸(汀線)区分別延長



## 閉鎖性水域の面積等

名称	湾口幅(km)	面積(km <sup>2</sup> )	最大水深(m)
伊勢湾	34.7	2,130.0	49
七尾湾	11.6	182.9	58
小浜湾	2.4	58.7	35
敦賀湾	7.3	57.8	51
英虞湾	5.7	42.2	37
五ヶ所湾	2.6	22.2	27
尾鷲湾	2.6	19.7	58
矢代湾	3.6	15.7	43
賀田湾	2.8	12.6	82
世久見湾	3.6	12.3	44
贄湾	3.3	12.2	58
神前湾	2.7	9.8	53
内浦湾	1.2	7.8	44
新鹿湾	2.3	5.4	47

## 三大湾・琵琶湖の比較

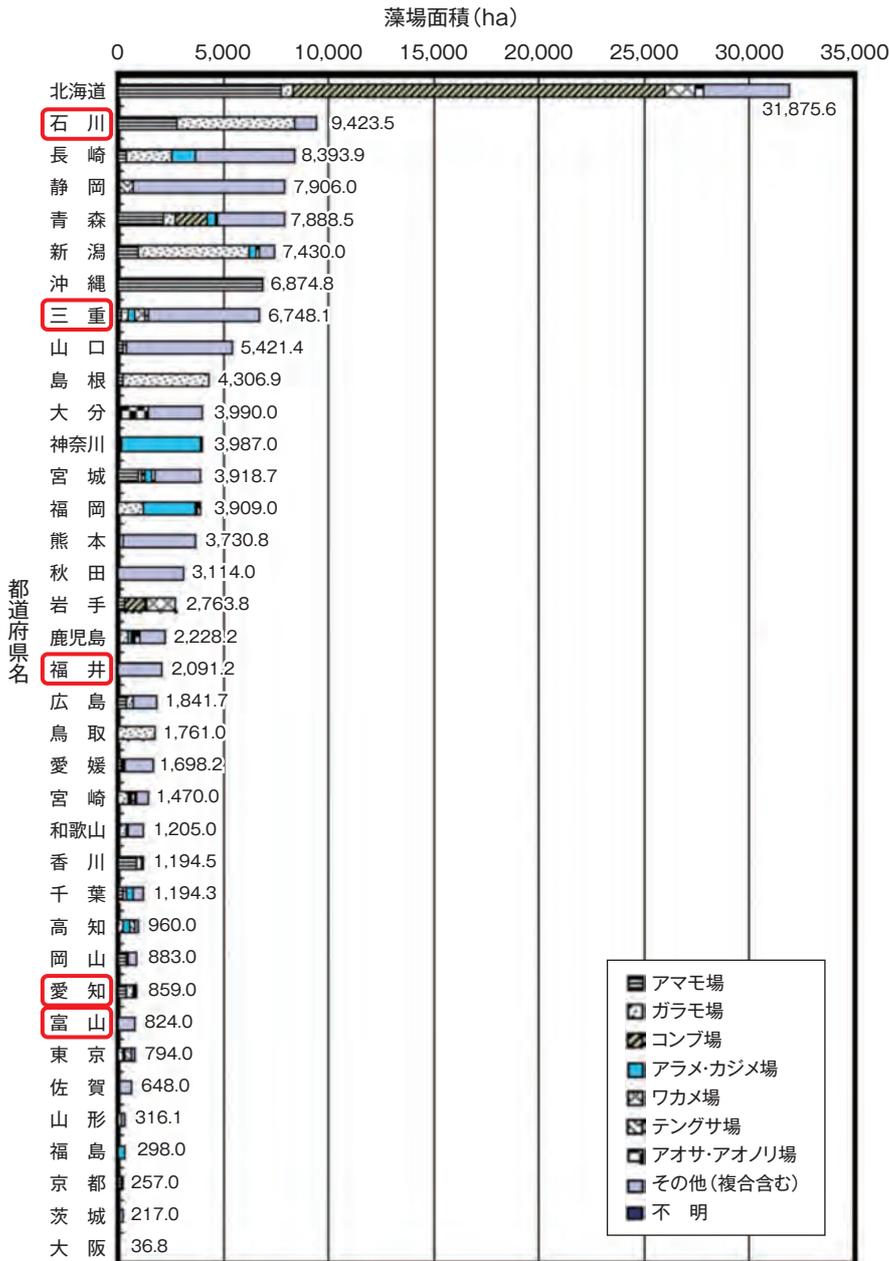
	東京湾	伊勢湾	大阪湾	琵琶湖
水面面積(km <sup>2</sup> )	1,380	2,130	1,447	670
平均水深(m)	38.6	16.8	27.5	41
容積(億m <sup>3</sup> )	621	394	440	275
最大水深(m)	650	49	197	104

### MEMO

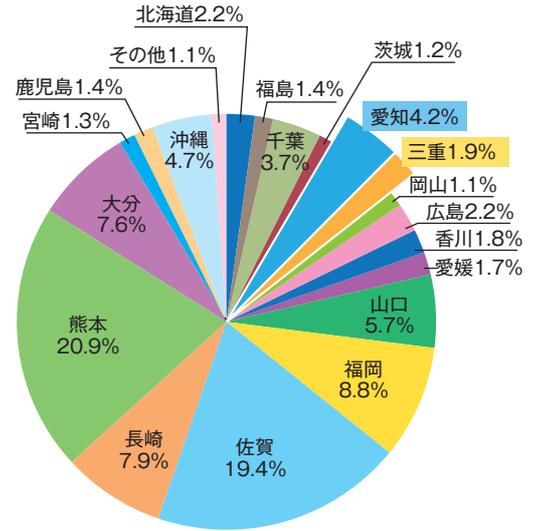
海岸区分別延長は第5回自然環境保全基礎調査による。三重県は海岸延長も長く、自然海岸の割合も高い。

閉鎖性水域、三大湾のデータは(財)国際エメックスセンターの資料による。

## 都道府県別藻場面積



## 都道府県別干潟面積



### MEMO

藻場面積、干潟面積ともに第5回自然環境保全基礎調査による。藻場は石川、三重に多く分布する。干潟は西日本特に九州に大半が分布するが、愛知、三重にも比較的広く分布する。

### 主な湖沼一覧

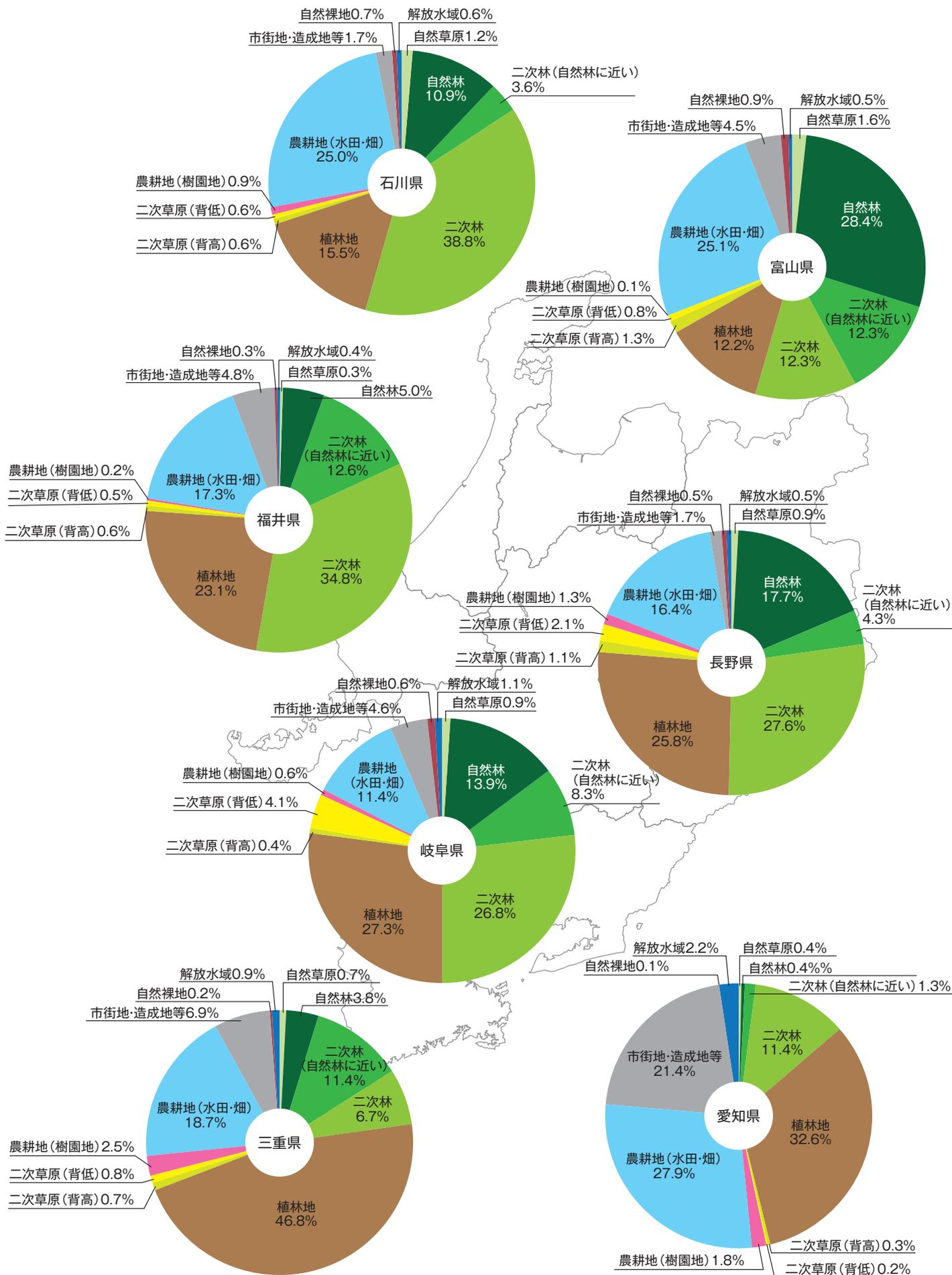
名称	都道府県	成因	汽水/淡水	面積km <sup>2</sup>	標高m	周囲長km	最大水深m	平均水深m	全面結氷	湖沼型
諏訪湖	長野	断層	淡水	12.9	759	17	7.6	4.6	する	富栄養
野尻湖	長野	その他	淡水	4.4	657	14	38.3	20.8	する	貧栄養
水月湖	福井	その他	汽水	4.2	0	11	33.7	—	しない	富栄養
河北潟	石川	海跡	汽水	4.1	0	25	6.5	2	しない	富栄養
青木湖	長野	断層	淡水	1.7	822	6.5	58	29	しない	貧栄養
日向湖	福井	海跡	淡水	0.93	0	4	39.4	14.3	しない	貧栄養
柳久保池	長野	堰止	淡水	0.07	630	2.2	38	19.2	する	中栄養

理科年表WEB版2011より引用。

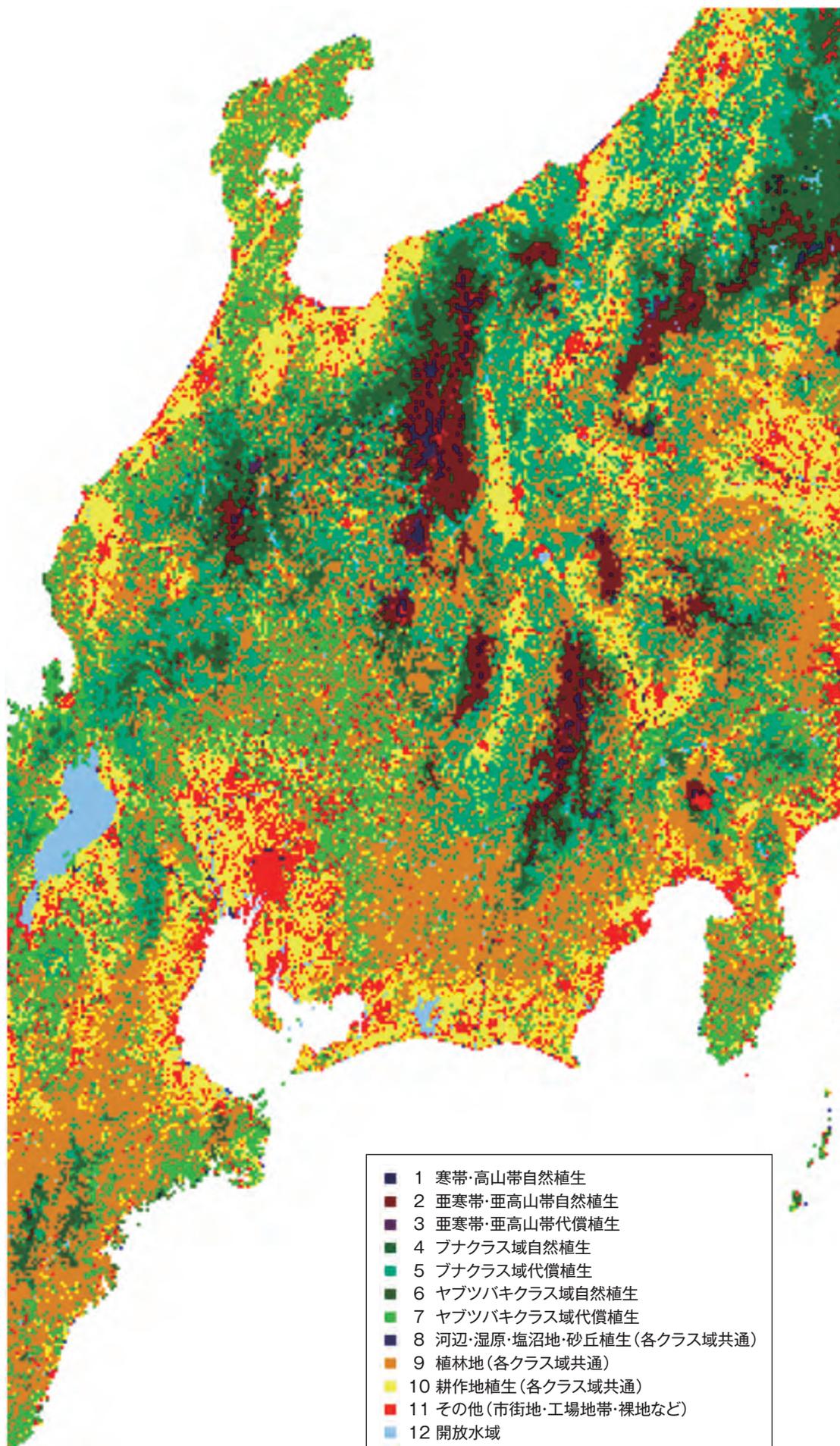
(1) 原則として面積4km<sup>2</sup>以上、あるいは最大深度30m以上の湖。

(2) 資料:「第4回自然環境保全基礎調査・湖沼調査報告書」(環境庁自然保護局, 1993)、「平成21年全国都道府市区町村別面積調」(国土地理院)および国土地理院の湖沼図による。

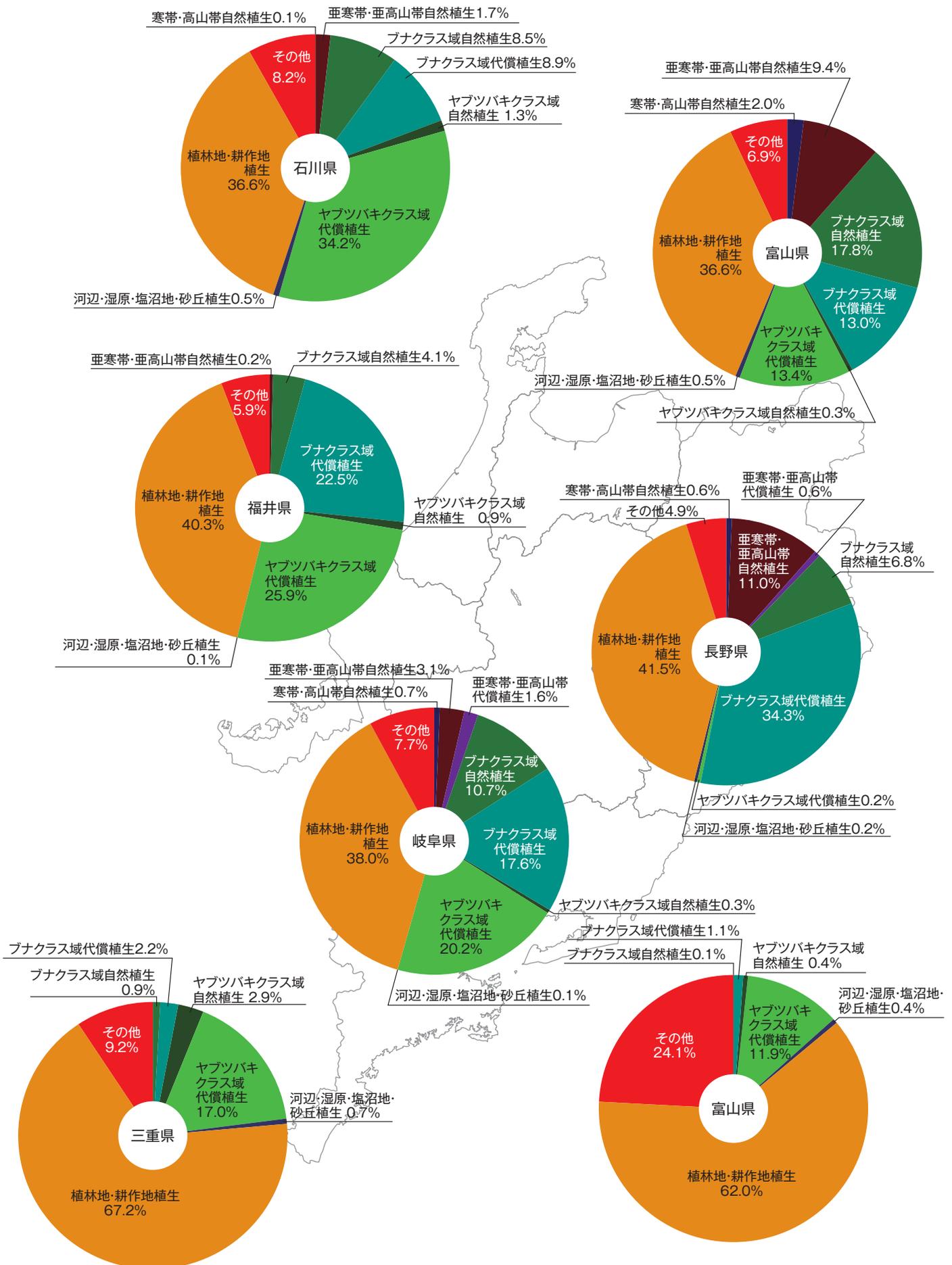
# 都道府県別植生自然度



## クラス域別植生図



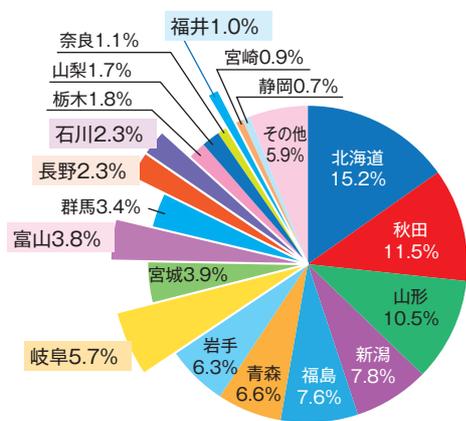
# 都道府県別植生クラス域の割合



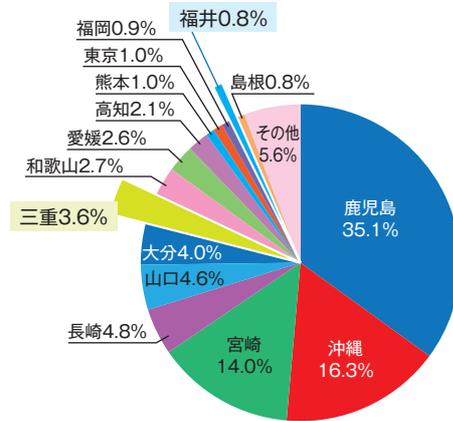
## 主な植生の出現頻度

主な植生区分	富山	石川	福井	長野	岐阜	愛知	三重	中部地方全体	全国
ブナ林(自然林)	538	332	143	334	806	3	47	2203	14264
照葉樹林(自然林)	5	1	30	1	3	14	127	181	3573
ミズナラ林・シデ林	508	354	884	3066	1384	55	114	6365	29455
コナラ林	481	962	521	18	1072	199	42	3295	22526
シイ・カシ萌芽林	0	0	16	0	0	17	628	661	8762
アカマツ・クロマツ林	27	444	500	1032	1058	693	673	4427	33353
(うちアカマツ林)	18	389	488	1032	1032	338	660	3957	30873
全メッシュ数	4127	4110	4049	12990	10129	4964	5495	45864	368727

## ブナ林(自然林)の都道府県別分布割合



## 照葉樹林(自然林)の都道府県別分布割合



## 特定植物群落の数と選定基準

### 特定植物群落数

県名	個数	面積ha
富山県	172	301
石川県	125	3,099
福井県	115	2,125
長野県	100	229,652
岐阜県	119	3,441
愛知県	95	725
三重県	115	8,746
全国	5,471	1,084,963

### 特定植物群落選定基準

A	原生林もしくはそれに近い自然林
B	国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群
C	比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地にみられる植物群落又は個体群
D	砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群でその群落の特徴が典型的なもの
E	郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
F	過去において人工的に植栽されていることが明らかな森林であっても長期にわたって伐採等の手が入っていないもの。
G	乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群
H	その他学術上重要な植物群落又は個体群

## MEMO

主な植生の出現頻度におけるメッシュは約1km四方のメッシュであり、その中心部に出現する植生をメッシュの代表値として集計している。

富山は県土に占めるブナ自然林の割合が13%であり、山形、秋田に次いで高い。岐阜も8%がブナ自然林である。

照葉樹林自然林はそのほとんどが九州に分布するが、九州・山口を除き、最も多く分布するのが三重県である。データは第5回自然環境保全基礎調査による。

特定植物群落の数は第4回自然環境保全基礎調査による。

# 巨樹・巨木県別TOP5一覧

県	特定の名称	樹種	所在地	幹周(cm)	樹高(m)
富山県	洞杉	スギ	魚津市	1560	20
	今山田のカツラ	カツラ	富山市	1400	25
	上日寺のイチヨウ	イチヨウ	氷見市	1200	36
	大沢の地鎮杉	スギ	魚津市	1180	30
	—	エドヒガン	南砺市	1140	20
石川県	堂形のシイ	スダジイ	金沢市	2581	10
	こもちカツラ	カツラ	白山市	1830	43
	堂形のシイ	スダジイ	金沢市	1752	11
	太田の大トチノキ	トチノキ	白山市	1300	25
	—	カツラ	金沢市	1260	27
福井県	岩屋の大杉 (全国15位)	スギ	勝山市	1700	33
	白山神社のカツラ	カツラ	大野市	1450	28
	—	ヒノキ	大野市	1290	16
	専福寺の大ケヤキ	ケヤキ	大野市	1120	8
	小浜神社の 九本ダモ	タブノキ	小浜市	1075	18
長野県	大出のカツラ	カツラ	上伊那郡箕輪町	2158	20
	中屋敷熊野神社 のケヤキ	ケヤキ	東御市	1550	40
	月瀬の大杉	スギ	下伊那郡根羽村	1379	48
	芝宮のケヤキ	ケヤキ	上伊那郡箕輪町	1245	50
	木下のケヤキ	ケヤキ	上伊那郡箕輪町	1245	25

県	特定の名称	樹種	所在地	幹周(cm)	樹高(m)
岐阜県	洞のカツラ	カツラ	飛騨市	1650	30
	千本カツラ	カツラ	高山市	1620	35
	石徹白のスギ	スギ	郡上市	1400	25
	弁慶杉	スギ	恵那市	1360	40
	千光寺の五本杉	スギ	高山市	1220	50
愛知県	清田の大クス	クスノキ	蒲都市	1430	22
	子持ち桂	カツラ	豊田市	1418	40
	杉本の貞観杉	スギ	豊田市	1175	45
	八柱神社の大楠	クスノキ	豊田市	1160	21
	—	クスノキ	新城市	1090	27
三重県	水屋の大クス (全国16位)	クスノキ	松阪市	1663	38
	引作の大クス	クスノキ	南牟婁郡御浜町	1570	49
	阿田和の大楠	クスノキ	南牟婁郡御浜町	1440	35
	—	クスノキ	尾鷲市	1150	35
	—	カツラ	熊野市	1110	27

## MEMO

自然環境保全基礎調査に基づく、全国巨樹・巨木林データベース(平成23年8月25日更新)奥多摩町ホームページによる。



岩屋の大杉(福井県) 写真提供:勝山市教育委員会

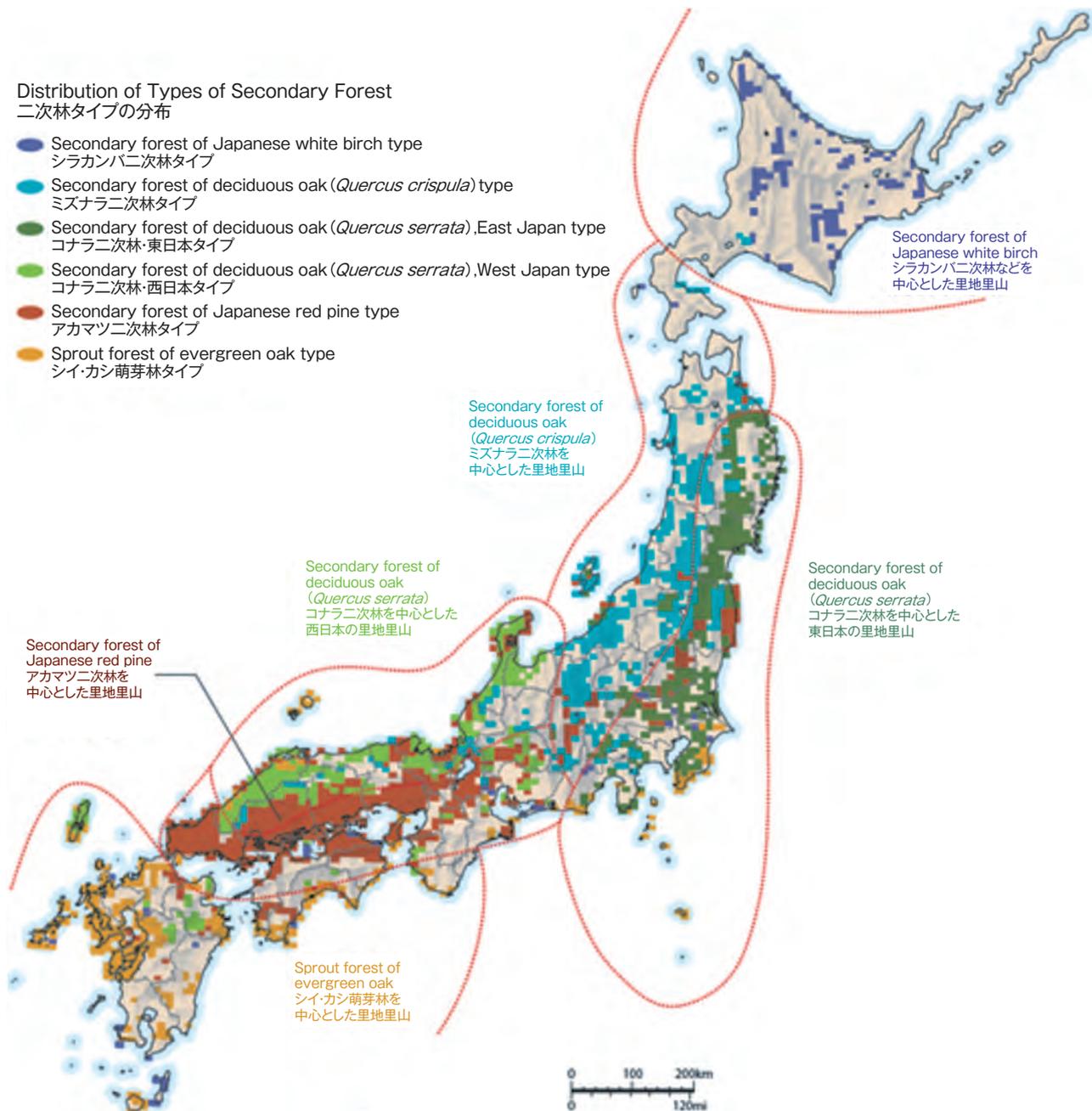


水屋の大クス(三重県) 写真提供:三重県教育委員会

## 二次林タイプの分布

Distribution of Types of Secondary Forest  
二次林タイプの分布

- Secondary forest of Japanese white birch type  
シラカンバ二次林タイプ
- Secondary forest of deciduous oak (*Quercus crispula*) type  
ミズナラ二次林タイプ
- Secondary forest of deciduous oak (*Quercus serrata*), East Japan type  
コナラ二次林・東日本タイプ
- Secondary forest of deciduous oak (*Quercus serrata*), West Japan type  
コナラ二次林・西日本タイプ
- Secondary forest of Japanese red pine type  
アカマツ二次林タイプ
- Sprout forest of evergreen oak type  
シイ・カン萌芽林タイプ



## ため池100選一覧

御射鹿池	長野県	茅野市
菅大平温水ため池	長野県	木祖村
千人塚城ヶ池	長野県	飯島町
塩田平のため池群	長野県	上田市
荒神山ため池	長野県	辰野町
赤祖父溜池	富山県	南砺市
桜ヶ池	富山県	南砺市
漆沢の池	石川県	七尾市
鴨池	石川県	加賀市

赤根大堤	福井県	勝山市
八幡池	岐阜県	坂祝町
入鹿池	愛知県	犬山市
三好池	愛知県	みよし市
芦ヶ池	愛知県	田原市
初立池	愛知県	田原市
片田・野田のため池群	三重県	津市
楠根ため	三重県	菟野町

### MEMO

二次林のタイプは環境省の分類による。

ほとんど全ての里地里山のタイプが中部地域には分布する。

ため池百選は農林水産省の選定。

# 日本の重要湿地500(2001年)一覧

ラムサール条約登録湿地(赤字)  
及びラムサール条約登録湿地潜在候補地(黄色の網掛け)

湿地名	都道府県名
苗場山周辺湿原 (苗場山湿原、小松原湿原など)	新潟県、 長野県
白馬岳周辺湿地群 (朝日岳～唐松岳の雪田、白馬大池、八方池、 長池などの高山湖沼、かもしか平、兵馬の平、 天狗原湿原、梅池湿原、八方尾根湿原など)	新潟県、 長野県、 富山県
木崎湖周辺湖沼・湿地群 (落倉湿原、居谷里湿原、唐花見湿原、 姫川源流(親海湿原)、木崎湖、中綱湖、 青木湖、農具川など)	長野県
霧ヶ峰湿原群 (八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原など)	長野県
志賀高原周辺湿原群 (四十八池湿原、田ノ原湿原、高天ヶ原・一ノ瀬 湿原、焼額山湿原、北トブ湿原、一沼など)	長野県
乗鞍岳湿原	長野県
安曇野蓼川(タデカワ)周辺湧水河川	長野県
黒姫山湖沼・湿原群 (黒姫山大池、種池、古池、御鹿池、古池湿原、 大だるみ湿原、御鹿池湿原、赤谷地湿原など)	長野県
逆サ川	長野県
長野市周辺ため池群	長野県
立山周辺湿地群 (弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など)	富山県
富山湾	富山県
氷見市周辺の潟湖・ため池群	富山県
能登半島の低地湿原	富山県、 石川県
七尾湾	石川県
能登半島西海岸及び湖沼群 (邑知潟、高松～河北海岸、河北潟)	石川県
白山の湿原・雪田草原	石川県、 岐阜県
片野鴨池	石川県
内浦町地先沿岸	石川県
舳倉島・七ツ島周辺沿岸	石川県
能登半島西部沿岸	石川県
ガンの池	石川県
大野市の湧水	福井県
武生市の湧水	福井県
武生市周辺のアベサンショウウオ生息地	福井県
北潟湖	福井県
九頭竜川下流域及び流域湖沼(九頭竜川、大堤)	福井県

湿地名	都道府県名
中池見	福井県
池ノ河内湿原	福井県
三方五湖	福井県
養老地域の湧水群	岐阜県
天生(アモウ)湿原	岐阜県
沖ノ洞・上ノ洞	岐阜県
大湫	岐阜県
津保川流域の農業用水系	岐阜県
前沢湿地・須衛湿地	岐阜県
木曾三川合流域の河川・水路・ため池群	岐阜県、 愛知県
長良川・木曾川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	岐阜県
遠州灘海岸	静岡県、 愛知県
葦毛(イモウ)湿原・湖西地方の湿地	静岡県、 愛知県
伊良湖岬周辺沿岸	愛知県
濃尾平野外縁部のウシモツゴ生息地	愛知県、 岐阜県
三河湾 (伊川津、汐川干潟、神野新田、矢作古川河口、 一色干潟、矢作川河口、佐奈川河口など)	愛知県
作手(ツクデ)中間湿原群(長ノ山湿原など)	愛知県
豊田市周辺中間湿原群 (北山湿地、矢並湿地、伊保湿地など)	愛知県
伊勢湾 (藤前干潟、常滑沖、鈴鹿川・雲出川・櫛田川・ 祓川・愛宕川・金剛川の各河口)	愛知県、 三重県
祓川	三重県
志摩半島南部沿岸(大王町～南島)	三重県

重要湿地500以外でラムサール潜在候補地とされた湿地

湿地名	都道府県名
能登半島北部ため池群	石川県
嶺南東部のアベサンショウウオ生息地	福井県
豊津浦～町屋裏	三重県

## レッドリスト掲載種類数

### 富山県2002年

	県内確認種類	絶滅・野生絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	地域個体群	計
哺乳類	55	2		3	9	3		3
鳥類	310	1	5	14	35	13		19
爬虫類	16	0	0	0	2	2		0
両生類	20	0	1	1	2	1		2
淡水魚類	約60	1	3	8	7	7	1	11
昆虫類	約8000種		21	23	78	4		44
軟体動物 (淡水産貝類及び 陸産貝類)	約107種	4	5	3	7	8		8
植物	約2700種	18	90	94	115	59		184

### 石川県 植物以外2009年、植物2010年

	県内確認種類	絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	地域個体群	計
哺乳類	55	2	4	8	8			12
鳥類	430	2	16	17	25	5	3	33
爬虫類	21			1	2			1
両生類	20亜種1		2		1		1	2
淡水魚類	90		2	3	4		1	5
昆虫類	5000種以上	2	40	35	66	24	5	75
浅海域の生物		0	0	2	7	14	16	2
陸産貝類			1	7	24	5	0	8
淡水産貝類			5	2	7	4	0	7
その他の動物			1	1	3	0	0	2
維管束植物	2371	10	202	222	169	44	—	424

### 福井県2004年

	県内確認種類	絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	計
哺乳類	36	2		2	4	2	2
鳥類	317	1	21	27	29	11	48
爬虫類	21		1	3		4	4
両生類	18		2	1	1	1	3
淡水魚類	98		8	17	7	1	25
昆虫類	7862	2	34	34	34	78	68
陸産貝類	103	3	4	16	6		20
淡水産貝類	40	3	3	5	3	1	8
維管束植物	約2700	13	159	130	76	80	289
淡水藻類			12	0	3	19	12

### 岐阜県2010年(植物は2001年)

	県内確認種類	絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	計
哺乳類	56		7	6	8	1	13
鳥類	303		5	7	21	8	12
爬虫類	14		0	0	1	2	0
両生類	23		2	4	3	2	6
魚類	80		8	5	14	4	13
昆虫類	約5600	4	28	28	77	33	56
貝類	176		6	14	14	18	20
維管束植物	2897		24	54	57	54	78

長野県 維管束植物2001年、動物2003年、非維管束植物2004年

	県内確認種類	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧I類		絶滅危惧II類		準絶滅危惧	情報不足	地域個体群	計	希少雑種
				(IA)	(IB)	(IA)	(IB)					
哺乳類	49	3		4	2	2	4	8	2	1	8	
鳥類	303	2		12	6	6	17	15	4	2	29	
爬虫類	13						1		3		1	
両生類	20			3	3		1	3	1		4	
魚類	32	1	3	4	2	2	2	7		1	6	
昆虫類(注1)		4		51	3(チョウ類)	7(チョウ類)	126	120	37	3	177	
クモ類(注2)				2			1	2	3		3	
貝類				11			9	5			20	
ウズムシ類、カイメン類(注2)				2							2	
維管束植物	2979	31		504	280	224	136	119	67		640	135
蘚苔類(注3)				80				4	3		80	
藻類(注3)		1	2	11							13	
地衣類(注3)				32				36	14		32	
菌類(注3)				3				24	68		3	

注1：絶滅危惧I類として集計チョウ類含む、チョウ類のみIAIBに分類 注2：絶滅危惧I類として集計 注3：絶滅危惧として集計

愛知県2009年

	県内確認種類	絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類		準絶滅危惧	情報不足	地域個体群	計	
				(IA)	(IB)					
哺乳類	71	3	9	6	3	4	8	1	2	13
鳥類	398		22	9	13	26	31	1	3	48
爬虫類	16		1		1			3		1
両生類	21		4	2	2	1	4	4		5
淡水魚類	51		3	2	1	8	6	1		11
昆虫類	約7600	10	41	16	25	37	74	33		78
クモ類	523		17	2	15	12	4	1		29
貝類(陸産、淡水産、内湾産)	約540	9	61	53	8	29	49	6		90
維管束植物	約2220	42	221	58	163	200	124			421
コケ植物		3	36	14	22	23	6			59

三重県2005年

	県内確認種類	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧I類		絶滅危惧II類		準絶滅危惧	情報不足	計
				(IA)	(IB)	(IA)	(IB)			
哺乳類	42	3		5	2	3	8	5	6	13
鳥類	301			23	7	16	16	15	20	39
爬虫類	20						1	2	2	1
両生類	22						6	3		6
汽水淡水魚類	145	1		13	5	8	10	1	2	23
昆虫類	7000以上	11		70	21	49	86	82	158	156
クモ類	510			5	0	5	8	11	13	13
甲殻類	約500			3	0	3	2	3	8	5
貝類	2250			19	9	10	18	30	11	37
その他の動物		1						2		0
維管束植物	約3000	34	1	285	99	186	176	91	55	462
蘚苔類		2		45	22	23	19	13	11	64
キノコ				16	3	13	19	6	27	35

MEMO

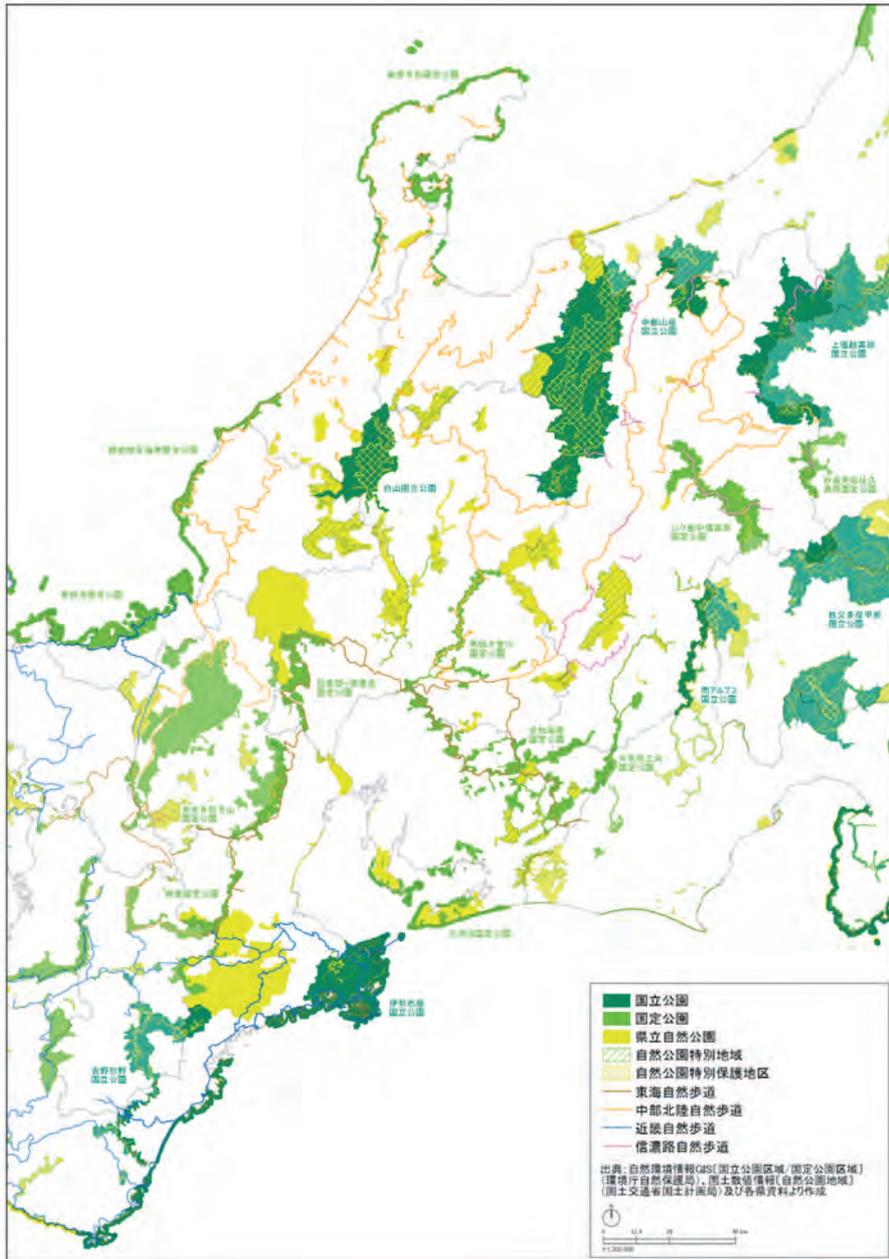
各県のレッドデータブック、HP等を参照して作成。詳細については各県の情報を参照。

「計」の欄には、「絶滅危惧」の種類数を示した。すなわち、環境省カテゴリーの野生絶滅、絶滅危惧I類及び絶滅危惧II類相当のもの。この計には、「準絶滅危惧」が含まれないことに注意。

分類単位が異なるため、各県毎の単純な種類数の比較は出来ない。

比較のためには分類単位の詳細な比較が必要。なお、亜種、変種等様々な分類単位が含まれるため、「種類」とした。

## 自然公園及び自然歩道の位置



### MEMO

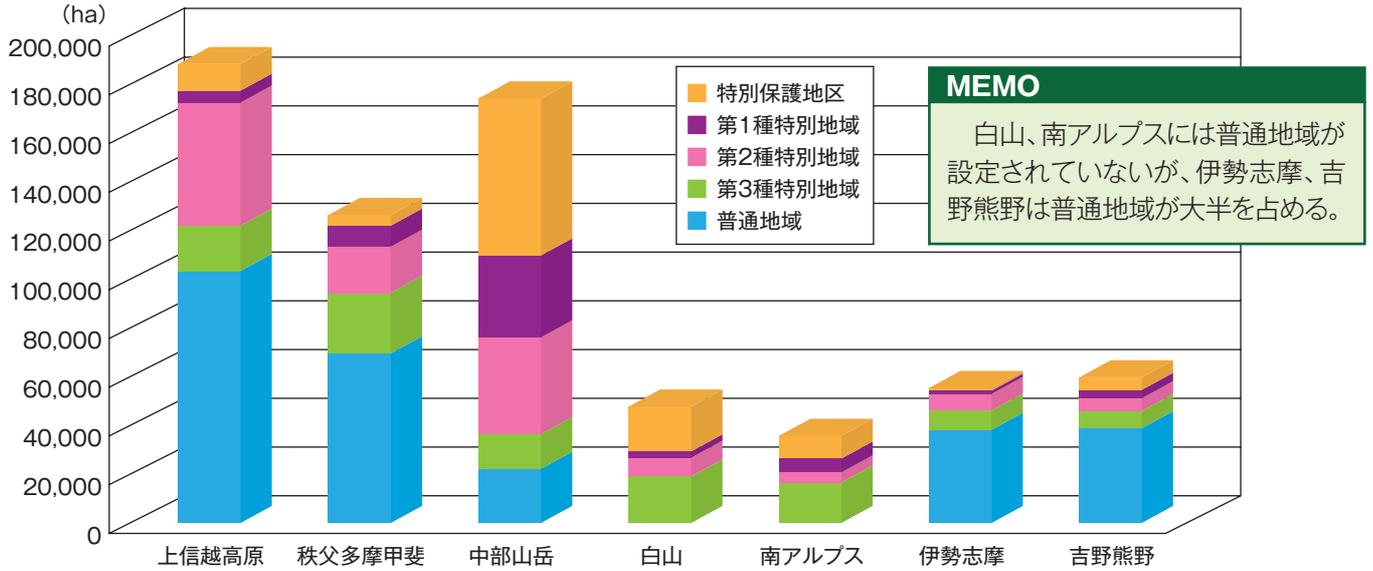
中部全体では約2割の国土が自然公園となっている。国立公園は7つ、国定公園は12ある。  
 自然歩道のデータについては21p参照。

## 自然公園の面積等

平成23年4月1日現在(単位:ha)

	面積(A)	自然公園面積(B)								県土等に 対する割合(%) (B)/(A)	都道府県立 自然環境保全地域	
		国立公園		国定公園		都道府県立自然公園		計			箇所	面積
		箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積			
富山	424,761	2	79,173	1	1,005	5	39,576	8	119,754	28.2	11	623.8
石川	418,547	1	25,735	2	10,383	5	16,376	8	52,494	12.5	7	1,050.50
福井	418,927	1	5,206	2	22,987	1	33,239	4	61,432	14.7	2	273.1
長野	1,356,223	4	170,743	3	46,755	6	61,050	13	278,548	20.5	8	790.4
岐阜	1,062,117	2	38,236	2	34,632	15	122,225	19	195,093	18.4	16	2,956.90
愛知	516,406		0	4	49,817	7	39,056	11	88,873	17.2	15	292.1
三重	577,687	2	72,526	2	26,272	5	103,098	9	201,896	34.9	5	463.4
中部計	4,774,668	7	391,619	12	191,851	44	414,620	63	998,090	20.9	64	6,450.20

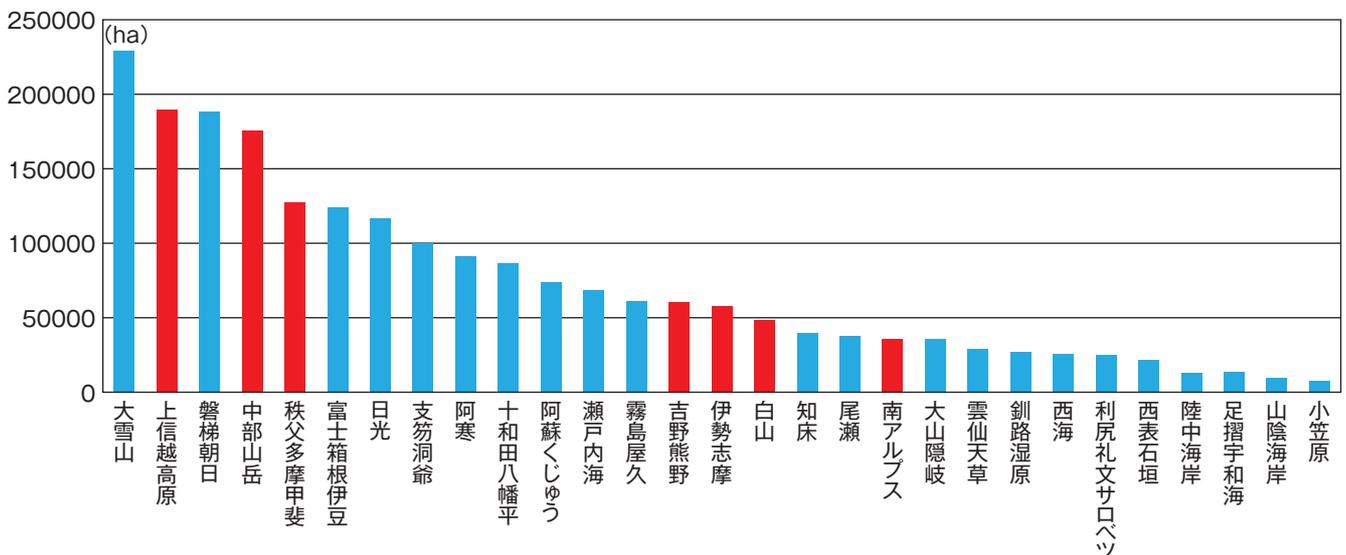
## 国立公園の地種区分の面積及びその割合



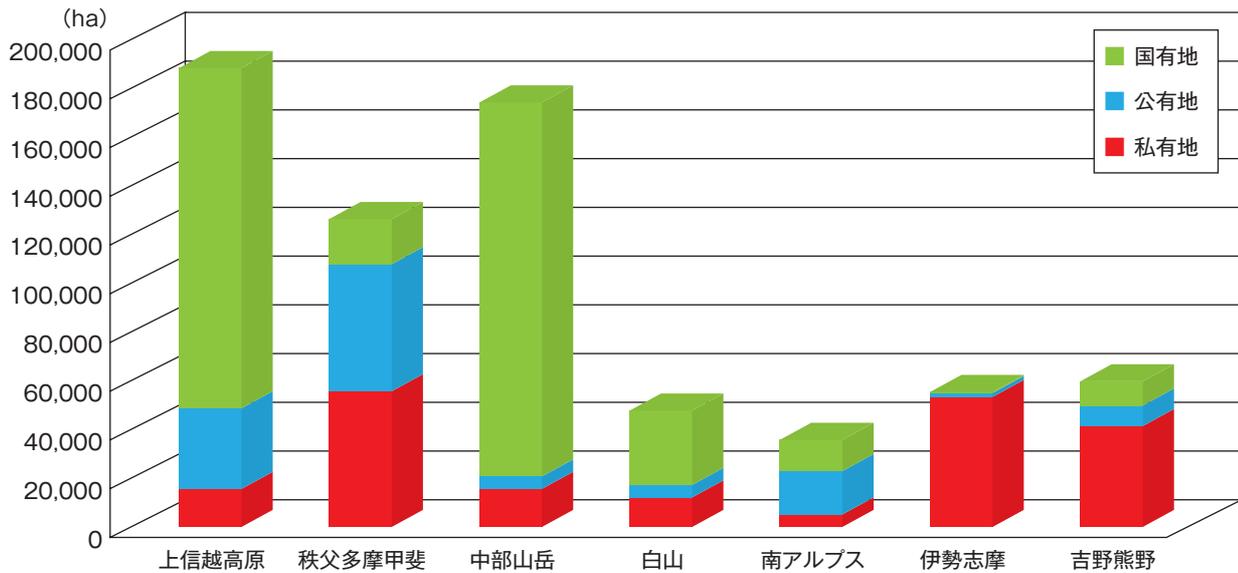
平成23年4月1日現在(単位:ha)

国立公園名	総面積	特別地域							特別地域小計	%	普通地域	%
		特別保護地区	%	第1種特別地域	第2種特別地域	第3種特別地域	第1~3種小計	%				
上信越高原	188,072	10,550	5.6	5,052	50,398	18,782	74,232	39.5	84,782	45.1	103,290	54.9
秩父多摩甲斐	126,259	3,791	3.0	9,166	17,930	25,600	52,696	41.7	56,487	44.7	69,772	55.3
中部山岳	174,323	64,129	36.8	33,947	39,776	13,642	87,365	50.1	151,494	86.9	22,829	13.1
白山	47,700	17,857	37.4	2,582	7,469	19,792	29,843	62.6	47,700	100	0	0
南アルプス	35,752	9,181	25.7	5,500	4,022	17,049	26,571	74.3	35,752	100	0	0
伊勢志摩	55,544	1,003	1.8	1,128	6,600	8,778	16,506	29.7	17,509	31.5	38,035	68.5
吉野熊野	59,793	4,475	7.5	3,805	5,210	6,762	15,777	26.4	20,252	33.9	39,541	66.1
国立公園合計	2,087,504	278,369	13.3	249,953	481,137	495,231	1,226,321	58.7	1,504,690	72	582,814	27.9

## 国立公園の面積

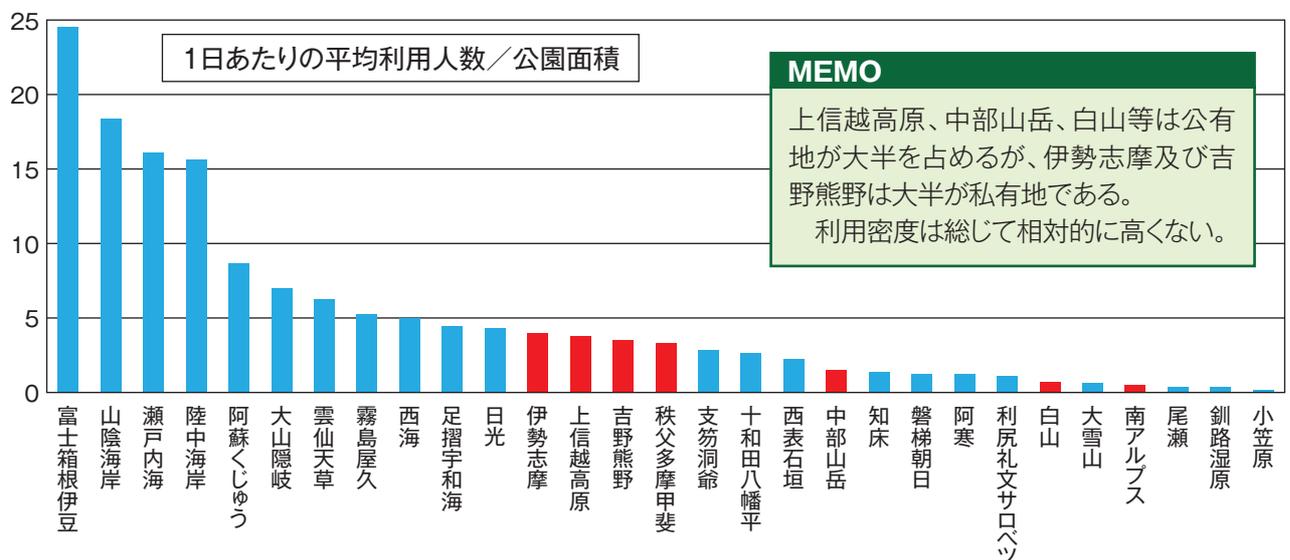


## 国立公園の土地所有別面積と割合



国立公園名	総面積	国有地	%	公有地	%	私有地	%	不明	%
上信越高原	188,072	140,708	74.8	32,906	17.5	14,418	7.7	40	0.0
秩父多摩甲斐	126,259	20,524	16.3	51,666	40.9	54,069	42.8	0	0.0
中部山岳	174,323	155,222	89.0	5,164	3.0	13,937	8.0	0	0.0
白山	47,700	31,884	66.8	5,071	10.6	10,745	22.5	0	0.0
南アルプス	35,752	14,050	39.3	17,891	50.0	3,811	10.7	0	0.0
伊勢志摩	55,544	165	0.3	1,997	3.6	53,382	96.1	0	0.0
吉野熊野	59,793	12,155	20.3	8,083	13.5	39,555	66.2	0	0.0
国立公園合計	3,851,264	2,146,957	61.9	644,688	12.5	936,317	25.6	242	0.0

## 国立公園の利用密度



## 国立公園内海域公園地区 平成23年4月1日現在

国立公園名	海中域公園地区名	位置	指定年月日	箇所数	面積 (ha)
吉野熊野	熊野灘二木島	三重県熊野市	S50.12.19	2	14.4
	串本	和歌山県西牟婁郡串本町	S45.7.1	5	52.9
計11公園	計51地区			93	2,675.50

## 自然歩道の県別距離 (km)

県	東海	中部北陸	近畿	計
富山	—	558.7	—	558.7
石川	—	725.0	—	725.0
福井	—	305.0	136.9	441.9
長野	—	753.2	—	753.2
岐阜	283.5	373.4	—	656.9
愛知	204.1	—	—	204.1
三重	197.1	—	610.5	807.6

(注) 車道を含む

## 重要野鳥生息地 (IBA) 一覧

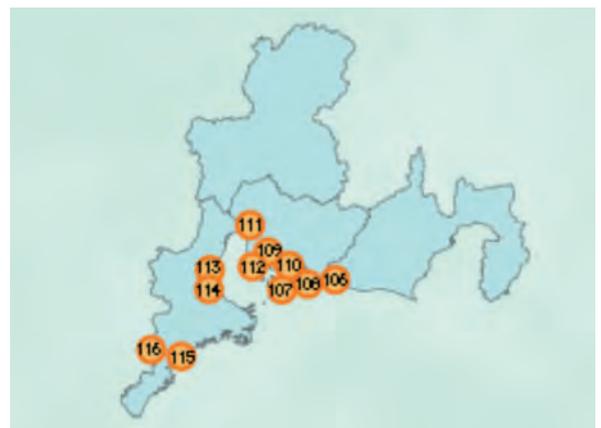
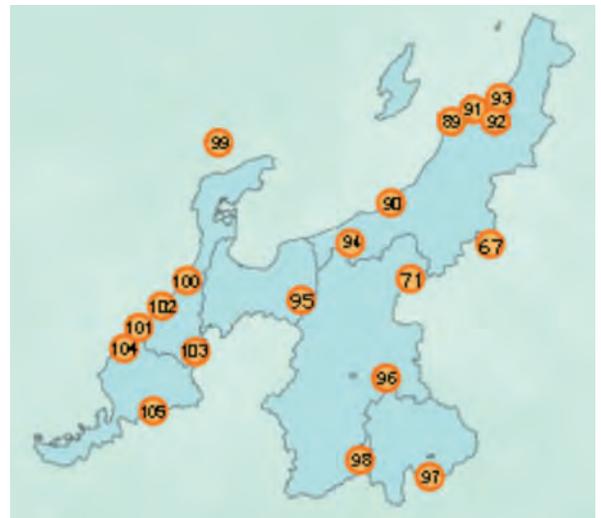
### 甲信越・北陸のIBA一覧

IBA-Code	サイト名	選定基準
67	奥只見、奥日光、奥利根	A3
71	浅間・白根・谷川	A3
89	佐潟	A4i
90	朝日池、鷺ノ池	A4i
91	鳥屋野潟	A4i
92	瓢湖	A4i,A4iii
93	福島潟	A4i
94	妙高、戸隠	A3
95	北アルプス	A3
96	八ヶ岳	A3
97	富士	A3
98	南アルプス	A3
99	七ツ島	A1
100	河北潟、高松海岸	A1,A4i,A4iii
101	片野鴨池	A1,A4i
102	小舞子海岸	A4i
103	白山	A3
104	九頭竜川下流域	A4i
105	能郷白山、伊吹山地	A3

### 東海・中部のIBA一覧

IBA-Code	サイト名	選定基準
106	浜名湖、遠州灘	A4i,A4iii
107	伊川津	A4i
108	汐川干潟	A4i
109	矢作川河口	A4i
110	(旧浅井新田養魚池)	A4i
111	藤前干潟	A4i
112	鷺の山	A4i
113	安濃川、志登茂川河口	A4i
114	雲出川、愛宕川、金剛川河口	A4i
115	紀伊長島	A1,A2
116	大峰山脈、台高山脈	A3

IBA-Code 110は埋め立てられ消滅。



図は日本野鳥の会の好意によりHPより転載。  
<http://www.wbsj.org/nature/hogo/others/iba/>

### 基準A1—世界的に絶滅が危惧される種

世界的に絶滅が危惧される種、または全世界で保護の必要がある種が、定期的・恒常的に多数生息している生息地。

### 基準A2—生息地域限定種

生息地域限定種 (Restricted-range species) が相当数生息するか、生息している可能性がある生息地。

### 基準A3—バイオーム限定種

ある1種の鳥類の分布域すべてもしくは大半が1つのバイオームに含まれている場合で、そのような特徴をもつ鳥類複数種が混在して生息する生息地、もしくはその可能性がある生息地。

### 基準A4—群れをつくる種

A4 i 群れを作る水鳥の生物地理的個体群の1%以上が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト。

A4 ii 群れを作る海鳥または陸鳥の世界の個体数の1%以上が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト。

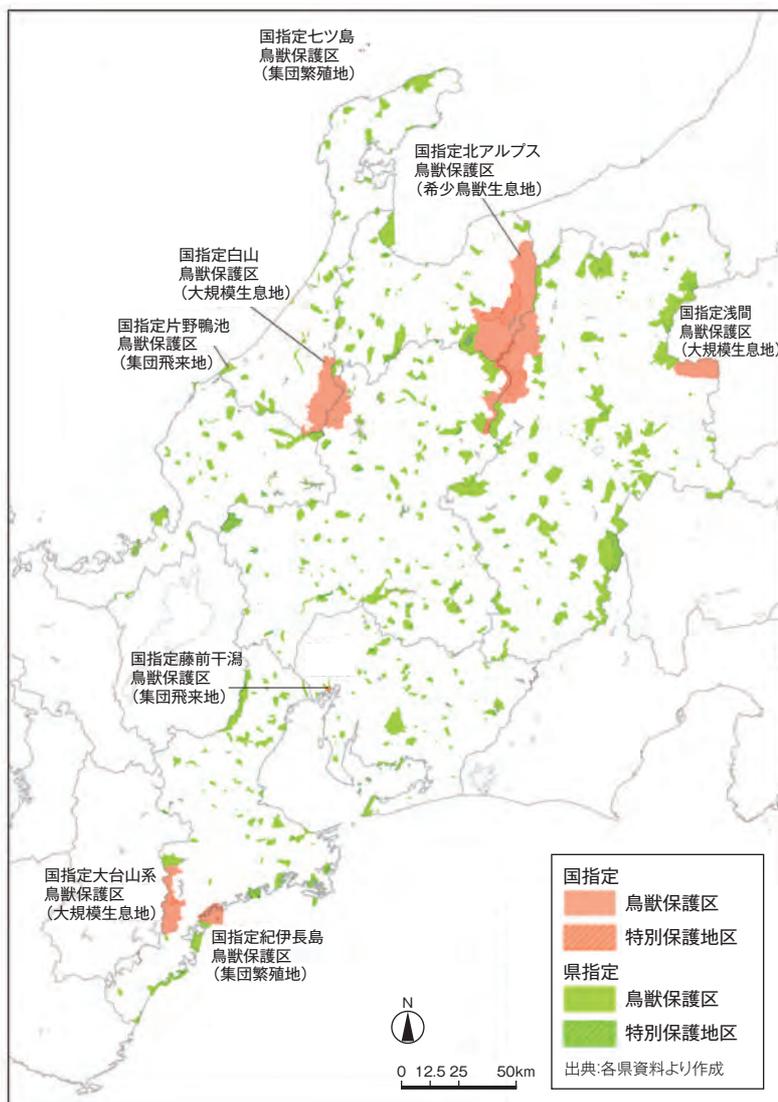
A4 iii 1種以上で2万羽以上の水鳥、または1万つがい以上の海鳥が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト。

A4 iv 渡りの隘路にあたる場所で、定められた閾値を超える渡り鳥が定期的に利用するボトルネックサイト。

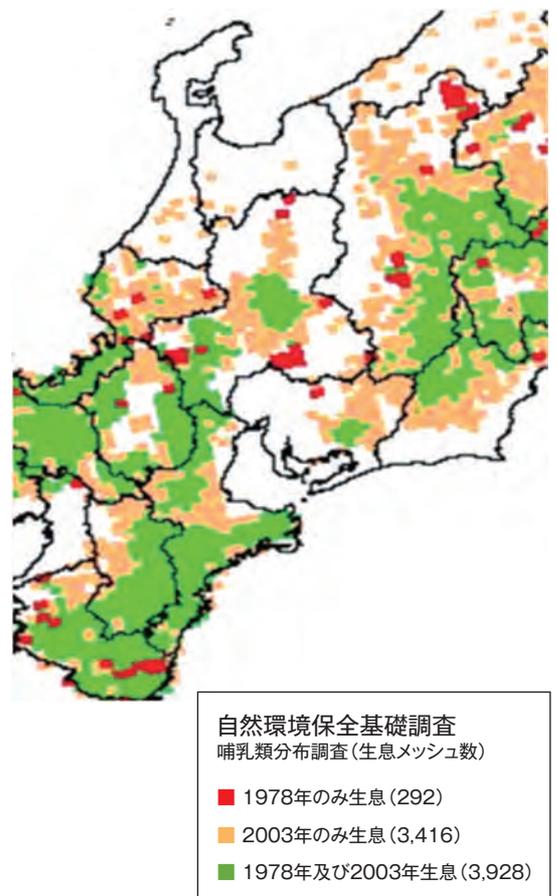
# 国指定鳥獣保護区一覧 平成22年11月1日現在

類別	名称	面積 (ha)		当初指定年月日	存続期間	所在地
		鳥獣保護区	特別保護地区			
大規模生息地	浅間	32,218	947	S26. 5. 1	H13.11.1~H23.10.31	群馬県、長野県
	白山	38,061		S44. 3.31	H20.11.1~H30.10.31	石川県、岐阜県
	大台山系	18,054	1,403	S47.11. 1	H 4.11.1~H24.10.31	三重県、奈良県
集団渡来地	片野鴨池	10	10	H 5.11. 1	H15.11.1~H35.10.31	石川県
	藤前干潟	770	323	H14.11. 1	H14.11.1~H24.10.31	愛知県
集団繁殖地	七ツ島	24	24	S48.11. 1	H15.11.1~H35.10.31	石川県
	紀伊長島	6,131	71	S44.11. 1	H21.11.1~H41.10.31	三重県
希少鳥獣生息地	北アルプス	110,306	25,350	S59.11. 1	H16.11.1~H26.10.31	富山県、長野県、岐阜県
	全国合計	569,245	146,552			

## 鳥獣保護区の分布

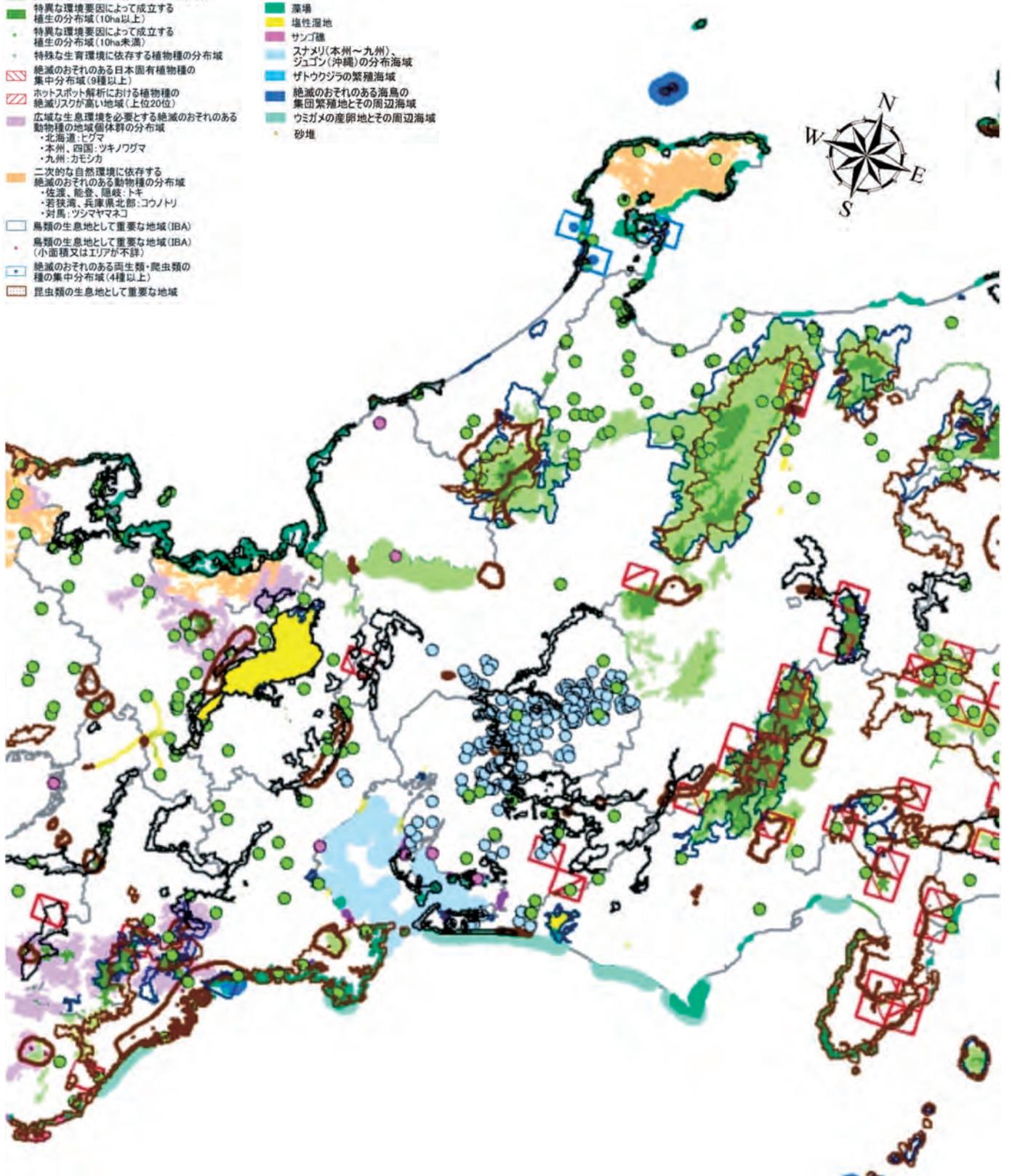


## シカの生息範囲の拡大状況



# 生態系の観点から重要な地域

- 国立・国定公園
  - 国立公園
  - 国定公園
- 陸域生態系
  - 典型的な自然植生(森林)(1000ha以上)
  - 特異な環境要因によって成立する植生の分布域(10ha以上)
  - 特異な環境要因によって成立する植生の分布域(10ha未満)
  - 特殊な生育環境に依存する植物種の分布域
  - 絶滅のおそれのある日本固有植物種の集中分布域(9種以上)
  - ホットスポット解析における植物種の絶滅リスクが高い地域(上位20位)
  - 広域な生息環境を必要とする絶滅のおそれのある動物種の地域個体群の分布域
    - ・北海道:ヒグマ
    - ・本州、四国:ツキノワグマ
    - ・九州:カモンカ
  - 二次的な自然環境に依存する絶滅のおそれのある動物種の分布域
    - ・佐渡、能登、福良:トキ
    - ・若狭湾、兵庫県北部:コウノトリ
    - ・対馬:ツシヤママネコ
  - 鳥類の生息地として重要な地域(IBA)
  - 鳥類の生息地として重要な地域(IBA)(小面積又はエリアが不詳)
  - 絶滅のおそれのある両生類・爬虫類の集中分布域(4種以上)
  - 昆虫類の生息地として重要な地域
- 陸水生態系
  - 河川・湖沼生態系における重要地域
  - 沿岸域生態系
    - マングロープ林
    - 干潟
    - 藻場
    - 塩性湿地
    - サンゴ礁
    - スナメリ(本州～九州)、ジュゴン(沖縄)の分布海域
    - ギトウクジラの繁殖海域
    - 絶滅のおそれのある海鳥の集団繁殖地とその周辺海域
    - ウミガメの産卵地とその周辺海域
    - 砂堆



# 中部地方の生物多様性

編集発行

環境省 中部地方環境事務所  
中部生物多様性主流化チーム

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2

TEL:052-955-2131 FAX:052-951-8919

印刷

水谷印刷株式会社

平成23年11月